

平成 26 年度 第 33 期年間事業計画発表例会

5 月 27 日 於:久御山ふれあい交流館ゆうホール

㈱長濱製作所 立入一晃

本年度最初の例会『第33期年間事業計画発表例会』を久御山ふれあい交流館ゆうホールにて開催致しました。まず初めに第33期代表幹事を務めます有田一繁より年間テーマに掲げております『一(はじめ) ~今一度 現状を見つめ これからを見る~』の思いを胸に所信表明を熱く語って頂きました。

続きまして第1部は各委員会・部会からそれぞれ委員長、部会長が年間活動テーマをもとに今期の事業計画を発表しました。各委員長、部会長と年間活動テーマは次の通りです。

委 員 会	委 員 長	活動テーマ
◆研修委員会	佐藤委員長(㈱万城製作所)	・事業の承継と発展
◆会社訪問委員会	福井委員長(洛陽化成㈱)	・原点回起
◆交流企画委員会	佐々木委員長(㈱佐々木工作所)	・結(むすび)
◆ものづくり委員会	有田委員長(㈱有田製作所)	・ワン
◆板金部会	橋本部会長(橋本鉄工㈱)	・要(かなめ)
◆切削部会	山下部会長(㈱協和精工)	・はじめの一步
◆経営基盤強化研究部会(K4)	寺田部会長(㈱キョークロ)	・変化を敏感に感じとろう

第2部では6グループに分かれてグループディスカッションを行いました。ディスカッションの内容としまして、33期のテーマ『一』にちなんで最初の例会として自身をみつめる機会として、自己分析ならぬ『他己分析』を行いました。それぞれ交互に人物像を話し合い、改めて自身の思いと照らし合わせて今後の啓発に活かして頂くという趣旨で行いました。自分以外のメンバーの批評を行い、自身は出てきた意見を記入用紙に書き込んで、愛情を真摯に受けて止め、自身の現状を見つめ直す良い機会になったのではないのでしょうか。

総会で中村顧問から「80人程いる会員なのに30人しか総会に来られていない。来ても意味がないと思われるのではないか。」と厳しいお言葉を頂きました。また、発足当時からお世話になっております(公財)京都産業 21 の森西様より大変ありがたいお言葉も頂きました。今一度、機青連発足当時の理念を再確認し、有田代表幹事が掲げます年間テーマのもと、会員の皆様に『学び、気づき、機会』をご提供できますよう、幹事一同事業を進めていきますので、ご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

